

市民との意見交換会取りまとめシート

開催地区： 幡山 中学校区	開催場所：山口公民館
開催日： 平成31年1月21日(月)	開催時間：午後7時～午後8時30分
出席議員：白井淳 長江公夫 三木雪美 山田伸夫 水野良一 池田信子	参加人数： 10人

広報広聴協議会 広聴部会長 宛

市民との意見交換会を実施した結果を報告します。

報告者 白井 淳

項番	中分類	小分類	発言の背景・意図	優先項目
1	大規模な太陽光発電施設の設置は環境破壊につながるのか	森林等の自然環境は守られるのか	市内の森林や自然環境を守るべきではないか	
2	地域力について	全市的に地域力に関する組織は立ち上がっているのか	全市的に地域力に関する組織を広げていくべきであり、そうでないと不公平である。また高齢者の活用も視野に入れて欲しい。	
3	遊休農地の活用について	遊休農地につき、農協や行政と一緒に農業を振興すべき	遊休農地等を一括して管理する法人組織をつくり、高齢者を始め農業を志すことたちに、果樹園など売れる作物を作ってもらおう。元気な高齢者を増やすことにもなり、土地の有効活用にもなる。	○
4	遊休農地の活用について	遊休農地につき、農協や行政と一緒に農業を振興すべき	現在、農業塾の卒業生しか農地を借用できない、もっと広く借用できるようにして、農業で生活できるようにしてはどうか。	○
5	防災について	地域の実情に合わせた防災計画が必要である	避難所として公民館が指定されているが、地域の実情と合致していないので、柔軟な活用を考えたい。小学校の体育館が避難所としての機能を果たせるように改善すべき。	
6	防災について	地域の実情に合わせた防災計画が必要である	根幹から現実の機能するような防災計画を立案すべきであり、市職員の参集など居住等の現実を踏まえた、かつ実態を把握した計画が必要である。また各地区ごとの実体を見ない防災計画は不十分である。	
7	空き家対策について	有効活用するための方策が必要である	空き家に関して貸し借り等が、簡単に出来る仕組みづくりが必要である。	○
8	瀬戸市の発展について	観光客	そもそも瀬戸に観光は必要なのか。瀬戸市の観光資源とは何なのか疑問である	
9	瀬戸市の発展について	お土産・特産品	道の駅の発展・拡大はどうか。瀬戸の名物、お土産はどういった物があるのか、他市に比べてわかりづらい。瀬戸市らしい特徴的なものを決めてアピールしていくべきである。	
10	瀬戸市の発展について	温泉	ニーズの高い温泉を、出るまで掘って、観光資源を瀬戸市の発展のための目玉としてはどうか。	
11	瀬戸市の発展について	発展のために	2つのインターを活かし、山間地の活用で第3の工業団地を増やし、瀬戸市の発展に活かして欲しい	
12	災害時における防災対策について	避難所	指定されている避難所が、避難所として大丈夫な立地にあるのか心配である。調査をしてほしい。	
13	災害時における防災対策について	情報インフラ	防災ラジオが入らない地域もある状況であり、災害時に役に立つインフラ整備に期待する。	
14	災害時における防災対策について	電気	避難所に太陽光電池を設置し、災害次の電気として使えるような整備が必要である。	
15	災害時における防災対策について	メンタル教育	現代社会にあって、メンタル当事者の声を教育の中に組み込んで、教育の中で精神的な病に対する知識を学んでほしい。	
16	災害時における防災対策について	トイレの洋式化	小中学校のエアコン整備は計画されたが、トイレの洋式化に関してはどの程度か。	